

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	労働関係庶務事務	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間 平成 9年度～
	施策	商工業の活性化	種別 任意の事務
	基本事業	施策の総合推進	市民協働 共催
予算科目コード	01-050101-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>国が取り組んでいる「働き方改革」では、「女性活躍」の必要性が高まっており、女性が安心して子育てと仕事ができるようにスキルアップを図るため。また、社会情勢の変化に伴い、就労を希望する女性への支援が求められている。</p>	<p>自分が働く上での課題の整理や自分らしい働き方を再考し、過去の振り返りをしながらスキルを学べるセミナーを開催する。 プログラムメニュー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感じの良い聞き方・話し方（オフィスで役立つビジネスコミュニケーション）</li> <li>2. 自分の人生を語ってみる（人生の振り返り・棚卸）</li> <li>3. ライフビジョンを考える（ゴールの設定と未来に向けてのアクション）</li> <li>4. 実践！履歴書を書いてみよう！（会いたいと思わせる応募書類の作り方）</li> </ol>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>結婚、子育てや介護等を機に離職したが、就労意欲がある女性が社会復帰に役立つスキルについて学び、再就労が図られることを目指す。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>女性がスキルアップし、再就職が図られる。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>前年度の課題を踏まえ、前期後期の2回で1日完結のセミナーとしたことにより、前期の参加人数は前年度の最高参加人数を上回ったが、就労のためのスキルの必要性についての認知度が低く、募集人員の20名までは達していないため、更に参加者を増やすことが課題である。</p>	<p>スケジュール 令和元年11月～ 次年度開催に向けての協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム内容の検討</li> <li>・周知方法や開催場所の検討</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>今後もプログラムの内容や周知方法について検討し、参加者を増やす必要がある。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input type="checkbox"/>増加 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	<p>セミナーの回数を2回とするとともに、プログラム内容及び周知方法を検討し、効率的なセミナーとするため、現状維持とする。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
1期4クールのセミナーを3期行ったことで、参加された方は就労活動においてのスキルを十分に身に付けることができたと思うが、1期4クールの開催が負担に感じるという声も聞かれるため、セミナーの質を落とさずに開催回数を減らす工夫が必要である。	セミナー開催を前期（9月）と後期（2月）の2回実施した。就職に役立つ重点的な内容に絞り込んだことで、質を落とさずに実施回数を減らすことができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
セミナーの受講者数	0.00	13.00	16.00	0.00	20.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	セミナーの回数と内容を変更したことにより、若干ではあるが参加人数が増えた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後もセミナーの内容や回数について、改善を加えながら継続していく。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	50	595	185	217	217
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	595	0	0	0
	一般財源	50	0	185	217	217
正職員人工数（時間数）		0.00	863.00	144.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	3,603	591	0	0
トータルコスト		50	4,198	776	217	217